



受賞に喜ぶ勝山高等学校家庭クラブのみなさん
右から順に、油谷いずみ教諭、山内嘉子さん、浅井麻衣さん、鈴木夕貴さん、岩佐唯さん

がんばれ元気



多田 弥生さん(11)
〓荒土町新保〓

本の中の世界って、すてき!

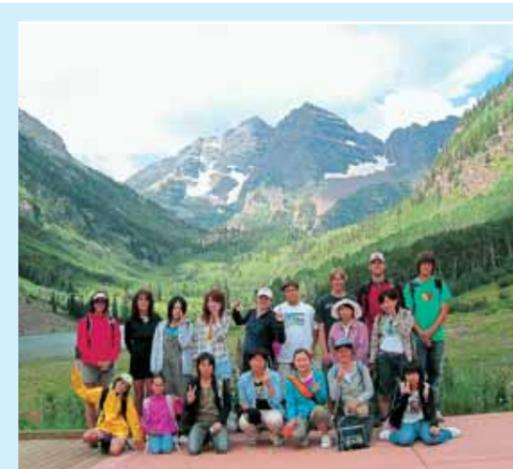
読書が大好きという多田さんは、学校の図書館から一カ月に10冊ぐらいは借りて読んでいるとのこと。読み始めると本の中に入り込んでしまつて時の経つのも忘れてしまうそうです。

これまで読んだ本では、『インガルス一家の物語』がお気に入り、「森や大草原の中に建てた家で、主人公が家族と共に暮らしている様子が楽しそうで好きです」とのこと。

読書以外にも、夏は水泳、冬はスキーとスポーツ好きの一面も見せます。また、昨年のプレ恐竜ミュージカルを見て楽しそうだなと思い、今年は応募して、厳しい練習にがんばっています。

小学4年生の時に、長野県木曽福島から転校してきた多田さんは、田んぼが多い勝山を見てのどかに感じたそうで、「クラスがなじみやすくてよかったです」と微笑みました。

青春ing



交流事業に参加した勝山市の中・高校生とアスペン市のみなさん

伝えたい!アスペンで見たこと、聞いたこと

勝山市アスペン市青少年交流事業派遣者のみなさん

市内の中・高校生ら10人が、7月28日から8月10日の日程で、勝山市との友好都市の米国アスペン市を訪れ、ホームステイやスポーツ、コンサート鑑賞などを通じて市民との親善交流を深めました。

この交流事業は、友好都市提携を結んだ1994年から毎年、青少年を交互に派遣・受け入れを行っているもの。hpa。

帰国後、勝山市役所へ報告に訪れた生徒らは、「アメリカの人たちは家族をすごく大切にしている」「自然環境を守りたいせつさを周りの人にも伝えたい」などの感想を話していました。

外から見た勝山の良さやアスペン市に学ばべきところをそれぞれが再認識できた実のある旅になったようです。

出会い ふれあい

伝統の味、旬の味「みずな」を残そう

勝山高等学校家庭クラブ

「勝山水菜」といえば、勝山の春の訪れを感じさせる旬の味です。

その新しい調理方法について調査研究をまとめて「広がれ!みずなワールド」春を楽しむ旬の味」が全国高等学校家庭クラブ研究発表大会で評価され、勝山高校3年浅井麻衣さんを中心に、勝山高等学校家庭クラブに、文部科学大臣賞が授与されました。

水菜を自家栽培する家庭では、収穫が始まった頃は、その味に堪能しても、毎日食卓に上がりだすと、飽きてしま

い、食べ残すこともあるので、もっとおいしく、楽しく食べることができないかと考えたのが、この研究活動のきっかけでした。

ところが、調べていくうちに、水菜の持つ歴史や自然環境を知り、また、

農家のかたの「勝山水菜」に寄せる思いやプライドに接して、農業と食文化の深い関わりを改めて感銘を受けたとのこと。

この研究では、まず「勝山水菜」の調査から始まり、水菜の独特の風味や食べ飽きるなどの問題を把握整理しました。次に、「勝山水菜」の独特の風味に対して他の食材との調和、手軽な調理方法を考慮して、新たなレシピ(調理法)づくりに挑戦しました。

さらに、「勝山水菜」からお茶を作ったり、水菜パウダーを誕生させたり

もしています。このお茶は、お茶専門店のかたも「このまま店の棚に置けます」と太鼓判を押すほどの味です。

これまで、勝山高等学校家庭クラブの皆さんは、勝高祭や県家庭クラブ研究発表大会での発表、料理コンテストでの入賞など、油谷いずみ教諭の指導の下で、いろいろなことに挑戦し、難問を乗り越えることで、大きな飛躍を遂げることができました。

クラブの皆さんは、「やっぱり、勝山水菜のお浸しが一番」と昔からの調理法方に舌を巻いていました。

地元の防災訓練に参加したい

中村 奈瑠人さん(20) 〓出身:片瀬1丁目〓

9月4日開催の福井県総合防災訓練の情報を事前に入手した中村さんは、防災訓練参加を志願しました。

現在、中村さんは、金沢陸上自衛隊第14普通科連隊第3中隊に所属しています。普通科の業務で福井に来ることはめったにないため、今回の防災訓練は願ってもない地元での仕事で光栄であり、親にも活動する姿を見せる絶好の機会であることから、参加したかったとのこと。

中村さんは、小学校から、中学校、高校とサッカーやスキーで活躍しており、スキーでは全国中学校体育大会、インターハイ、国体で活躍するほどのスポーツマンです。このため

体力には自身があるので、体力でもって社会の役に立ちたいと思い、自衛隊に入隊しました。

自衛隊では、演習や格闘などの訓練を日課とし、非常時の救助救援活動は体当たりで頑張りたいとのこと。

中村さんの趣味は、スキー、サッカーはもちろん、スポーツなら何でもOKですが、絵を描くことも大好きとのこと。自衛隊で訓練している様子や風景を頭の中に思い描き、絵を描いているそうです。描いた絵は、寮の自室に飾ってあるとのこと。

「好きな言葉は、『挑戦』です」と答える中村さんの瞳は、元気に輝いていました。

すてきに人生

